

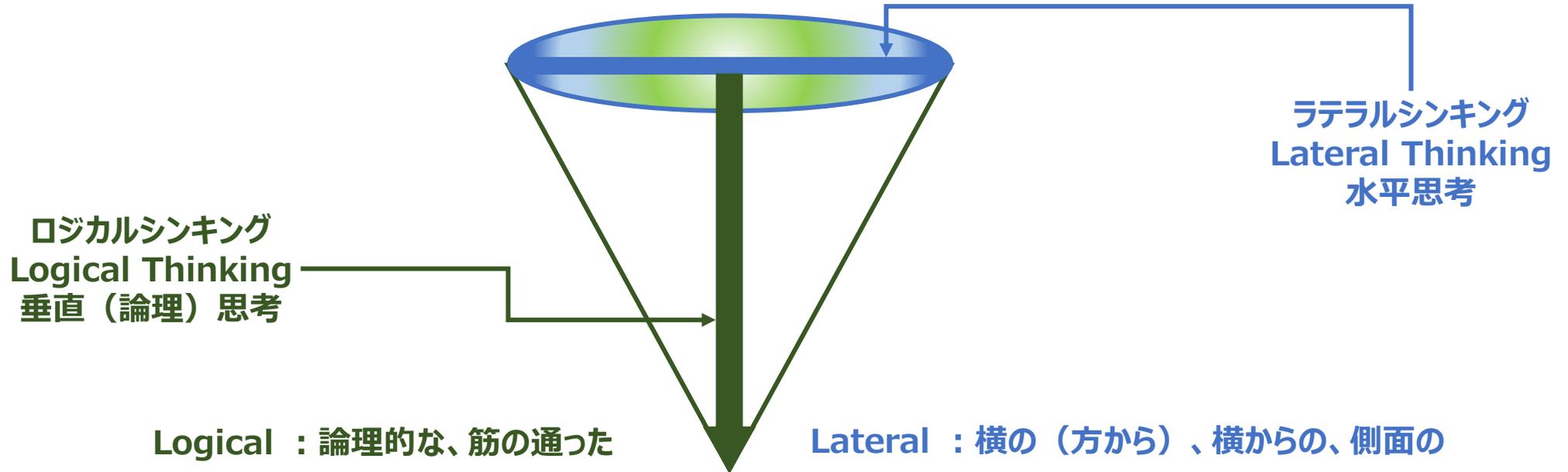
課題設定力

Part I

2020FY

LYST Corporation

垂直（論理）思考と水平思考→立体思考



筋道を立てて「解」を導く	目的	独創的なアイデアを生み出す
一つの最適解・納得解	成果	現状に縛られないアイデア
<ul style="list-style-type: none"> 既存の枠に当てはめる 常識的に発想する 一つの考えを掘り下げる、積上げる 批判的、懐疑的に思考する 	考え方	<ul style="list-style-type: none"> 既存の枠に囚われない 自由奔放に発想する 可能性を広げる 物事の本質に迫る
ありきたりな結論になりがち	欠点	成果が出にくい、個人差が大きい

➤課題

- 「現状」と「あるべき姿」のギャップを把握した上で、「現状」を「あるべき姿」にするために、なすべき事。

➤問題（点）

- 課題の達成（「現状」を「あるべき姿」にすること）を阻む要因。

「現状」と「あるべき姿」を正確に把握し、「現状」を「あるべき姿」になることを阻む優先順位の高い「問題」を見極め、「現状」を「あるべき姿」に近づける方法を考える事が、ここでご紹介する**課題設定**です。

1. 視座

Perspective



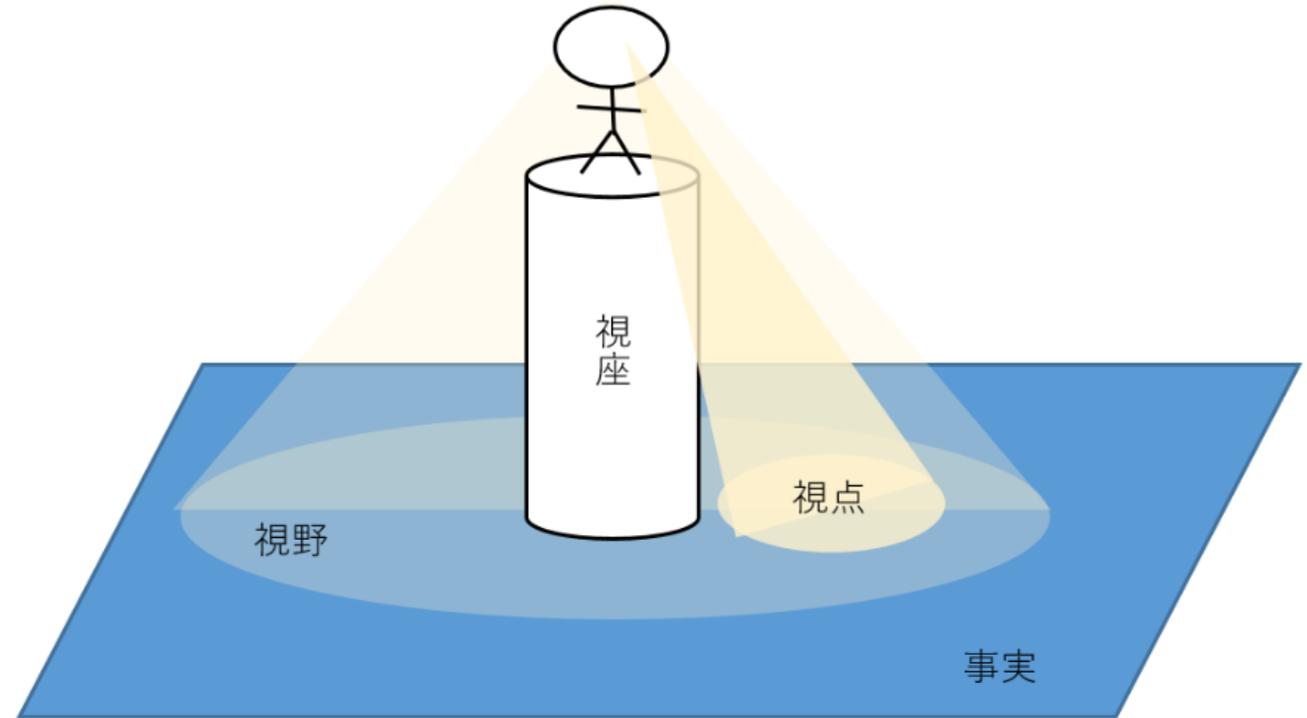
2. 視野

Field of view

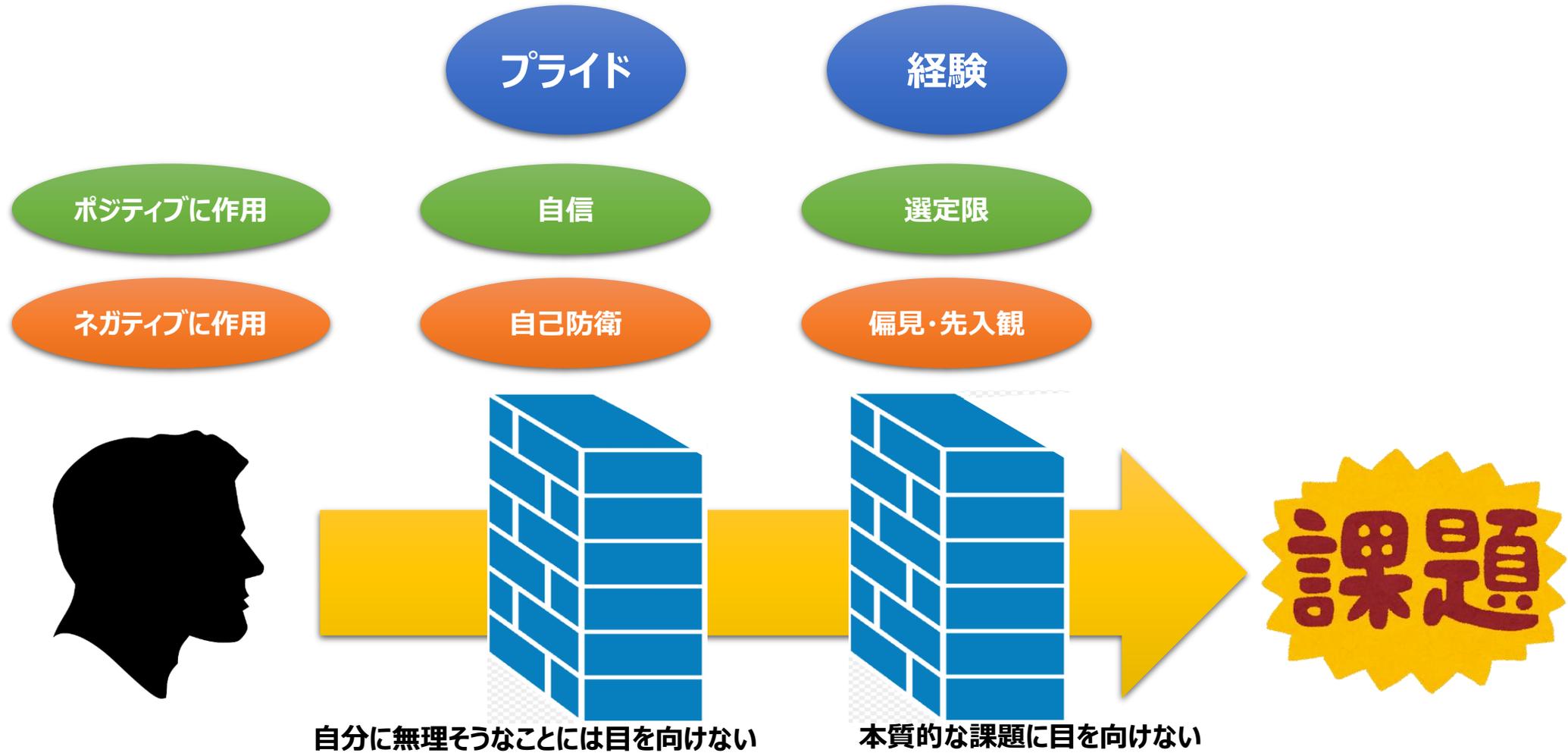


3. 視点

Point of view



視点①「視点」とは何か？



- ✓ 課題を捉える際に、プライドと経験をポジティブに作用させる。
- ✓ 自己防衛的考え方や自己中心の見方を捨てて、本質的課題にアドレスする「視点」を持つ。

課題設定の3段階



聞く

- 質問のフレームワーク
- 3×3のマトリックス

ぶつける（仮説）

- ディスカッションペーパー

計る（探る）

- 数値化・観察

論理構造化

- ロジカルシンキング

発想転換

- ラテラルシンキング

何を

- 現状とあるべき姿
- 目的とゴール

誰が

- 体制・役割

どうやって

- アプローチ・スケジュール

セミナーに関するお問合せ／
この資料に関するお問合せ：

株式会社LYST (リスト)

〒104-0043

東京都中央区湊2-6-4 RKビル2F

TEL : 03-6280-4442 (9:30~18:00)

FAX : 03-6280-4482

E-mail : info@lyst.jp

HP : <https://www.lyst.co.jp>

Online Seminar Channel : <https://www.lyst.co.jp/online-seminar>

課題設定力講座オンラインセミナー一覧：

<https://www.lyst.co.jp/online-seminar-issue-lineup>